

【小学校国語】

小学校  
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題( A )

「話すこと・聞くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「書くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「言語事項」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題( B )

「話すこと・聞くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「書くこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

「読むこと」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

「言語事項」の平均正答率

- ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

いずれの領域においても、記述式の問題における無解答が全国平均より、やや多くなっている。

今回の調査における課題

話合いの流れを踏まえ、自分の立場や意図を明確にし、数値等を根拠にしながら考えを述べること。

文の構成や表現を確かめ、文と文との意味のつながりを考えながら、指示語や接続語を使うこと。

目的や意図に応じて、全体を見通して、必要な事柄を収集、選択した上で構成したり記述したりすること。

文学的な文章を読み、表現の工夫をとらえること。

学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書く。

改善の方向

図表やグラフなどから読み取ったことを基に、自分の考えを明確にして相手に分かりやすく説明したり、報告したりする言語活動を取り入れた指導の充実。

単文、重文、複文などの構造で書かれた文の内容を論理的に関係付け、一文を接続語を使って複数の文に分けたり、内容のまとまりを箇条書きにするなど言語を操作する指導の充実。

目的や意図に応じて、必要な事柄を収集、選択した上で、書き手の意図が伝わるように、構成を工夫したり、軽重を明確にして記述したりする指導の充実。

読む目的や自分の立場を明確にもち、すぐれた叙述を自分なりに味わいながら読むことをとおして、表現の工夫をとらえる指導の充実。

漢字の意味の違いや使い方に着目して、文脈に沿って漢字を適切に使えるようにする指導の充実。

国語		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
分類	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	書くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	読むこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	言語事項	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	記述式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度

「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。